

7月11日投票参院・区長・区議選挙候補者に「地下化」の声を伝えましょう！

「6月21日 京王線地下化を求める会開催のお知らせ」



新緑眩しい季節、京王線沿線のお住まいの皆様には、ご健勝のことと存じます。

1. 「東京都、杉並区の動き他」ご報告

(1) 私たち京王線沿線住民が、3月末に東京都に提出した「京王線高架化事業の環境影響評価方法書への意見」は1337件に達しました。

(2) 東京都から上記意見書の概要版が5月6日杉並区に送られました。

(3) これを受けた杉並区は、5月26日区長意見を東京都石原都知事に提出しました。(内容は区のホームページに掲載しています)

2. 最近の動向への我々の考え方と今後の活動のご提案

(1) 区長意見には、私たちが提出した高架化による騒音や振動の影響、交差する幹線道路や側道建設による車の騒音や排気ガスなどの影響を、評価項目に入れるよう求めている点で一定の評価はできます。

(2) しかし、山田前杉並区長は、今年度の予算編成方針のなかで、開かずの踏み切り対策として、京王線の高架化事業を支持し、街づくりとともに積極的に進めることを掲げていました。私たち沿線住民の全面地下化の可能性や効果について検討すらしてくれませんでした。

(3) このたび、この山田前杉並区長が突然辞職し、7月11日の参院選挙と同時に杉並区長選、並びに、区議会議員補欠選挙が行われことになりました。この機会を捉え、各候補者に沿線住民の生の声を候補者に伝え、私たちの環境を守る方に国政と区政で力を発揮して頂きたいと考えます。

(4) 6月21日集まりに、参院選、区長・区議選候補本人、または、その代理人の方に参加頂き、京王線連続立体化を全面地下化で実現する我々の主張に賛同して頂き、地下化実現の方法を話し合う場としたいと考えております。下記日時・場所での次回集まりに何卒万障お繰り合わせ頂きお集り戴けますようお願い致します。

(次回集まりの日時と場所)

日時 6月21日(月曜)午後7時～9時

会場 桜上水北会議室(区民事務所)2階

現在、区長候補や区議補欠候補に、本人または秘書など代理の方に来ていただくよう要請しています。下高井戸1丁目の環境を考える会・(京王線の地下化を求める会)

吉沢 090-2487-0321

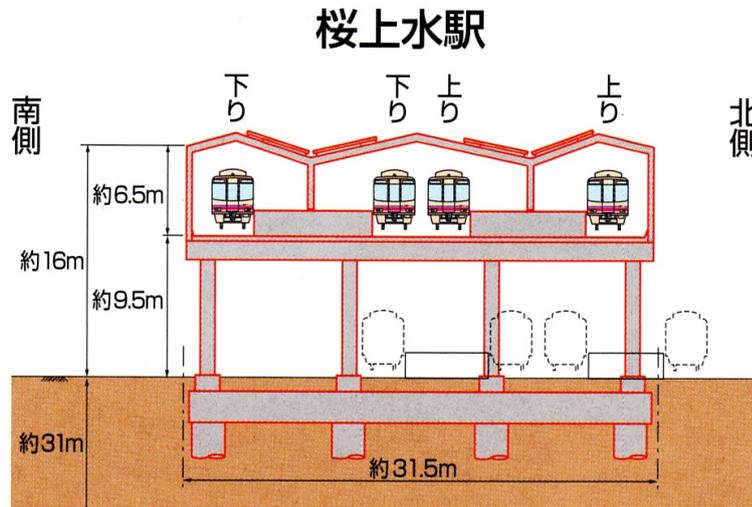
近藤 090-5497-4222

東京都と京王電鉄が計画している連続立体化とは？

東京都と京王電鉄は、笹塚駅～つつじヶ丘駅間を、約40年も昔に計画された「京王線の連続立体交差を高架方式で行う」計画を実行しようとしています。

(総工事費は、2300億円(85%は道路特定財源、京王電鉄負担は15%)

**下高井戸1丁目と周辺地域は、
甲州街道と首都高4号線に挟まれ、私達の住環境に大きく影響します**



景観の悪化: 首都高速よりも更に4m～5m高い、高さ16m以上の高架になる計画！

(下高井戸駅～上北沢間の線路部が10mの高さに = 4F建てビルの屋上の高さに匹敵)

環境の悪化: 京王線高架と、首都高4号線、甲州街道に挟まれ、更なる住環境の悪化！

(騒音、振動、低周波音、眺望、日照、通風などが悪化！)

資産価値の下落: 住環境悪化で、周辺地域の地価や、資産価値の低下！

地域が分断される: 高架化で、周辺地域が新たな形で分断される！

治安の悪化: 高架下にはゴミが放置され、落書きなど、治安も悪化！

(笹塚や八幡山、その他の高架例による)

高架方式は既に決まったことで変えられない？

そうではありません。計画のできた昭和40年代と違い、シールド工法による地下掘削技術が格段に進歩した今、未だ高架方式を主張する都と京王電鉄に対し疑問が出始めています。区議会のある会派は今回の計画の工事費算出に疑問を持ち、情報公開を求めるそうです。広い空、緑による温暖化防止、価値ある財産を次の世代に残すため、地道な市民運動をひろげ沿線住民の多数の声を行政に認めさせることです。

現在、京王線・調布～国領間では、最新のシールドマシンを使い、鉄道の地下化工事を行い、地上は緑道計画を実施しています。

まちづくりの主体は住民

まちづくりの主体は住民であり、それを無視した勝手な計画が実行できないことを東京都と鉄道事業者に知らしめることです。